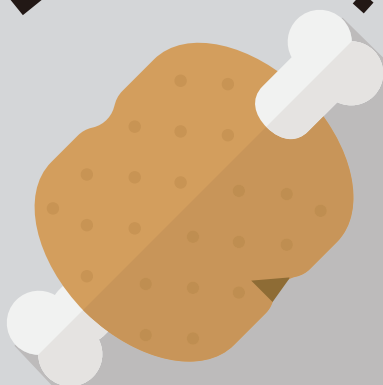


with
SBS

vol.005 NOVEMBER, 2018. [株式会社正文舎] 会社案内

※SBSは、正文舎（SyouBunSyuaの略です）

ENJOY!!!



TOPICS

スペシャル
カラーで
印刷物が素敵に！

正文舎のアレやコレ。

「株式会社 正文舎」A to Z
ENJOY

What's NEW! ————— マンガ広告

NEW&Goods ————— 印刷製本課との関わり



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。



ENJOY

Text : Honma Kazumi / Photo : Honma Kazumi & Tokunaga Moe

遊びから生まれた取り組み。

in'd3ɔɪ/ [動]《他》 1…を楽しむ 2〈成功など〉に恵まれる

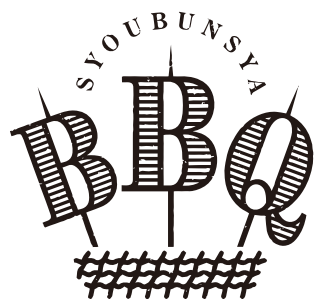


出欠回覧簿 (A4サイズ)

「大人だってはしゃぐぜ。」こんなキャッチコピーが書かれた社内回覧が回ってきた。キャッチコピーの下にはさらに文章が続く。

「平成最後の夏。
飲んで笑って
食べてはしゃいで
また飲んで。
飲んで走って
また飲んで。(以下略)」

これは“正文舎バーベキュー”の出欠回覧簿だ。“正文舎バーベキュー”とは、営業部次長の宮本が中心になって毎年実施している恒例行事で、今年で6回目を数える。



いつもこの回覧簿をデザインしているのは製版課の長瀬。とても社内だけで回すのがもったいないほどのクオリティで、毎年皆の目を楽しませてくれている。

バーベキューを2日後に控えた木曜日の夜、残業を終えて帰ろうとすると給湯室で何やら作業している人物が。傍には大量の玉子のパック。“燻製シェフ”こと営業部の新井だ。正文舎バーベキューでは名物となりつつある「燻製」。社内外からも美味しいと評判のそれは彼が一人で作っている。特に大人気なのが玉子で、仕込みのために50個も茹でて殻を剥いていた。

9月29日のバーベキュー当日。気持ちよく晴れた空の下、豊平川河川敷には焼き台・燻製器・ビールサーバーが用意され、昼頃には皆が集まった。社員だけでなく、そのご家族・お子様・ペット、およそ30名が集まった。

ジンギスカンや秋刀魚を焼く香ばしい匂いにビールが進む。皆、思い思いに楽しんでいる。社長の岸を筆頭に子供たちとサッカーをする参加メンバー。音楽を聴きながら燻製を作り続ける新井シェフ。モンゴルの塩塊を始め珍しい物を色々と繰り出す調味料マニアさん。皆に撫でられシッポを振るペットの大型犬。

いい具合にお酒も回り、日が暮れて辺りが薄暗くなる頃、後片付けを始める。ゴミを拾い分別を行う。日頃から正文舎では地域貢献活動の一環で、豊平川河川敷のゴミ拾いを行っているため、酔っ払っていても皆でテキパキと段取り良く片付けていく。

しかし、最初からこういった行動がとれていた訳ではない。第1回目のバーベキュー開催時は、会社の駐車場で行ったため、騒音や匂いに対して近隣住民からクレームが出てしまった。真摯に反省し、それ以降は、消防署の許可を得て場所を豊平川河川敷に移して、地域の皆様へのご迷惑にならないよう配慮して行っている。正文舎が菊水の街の一員であることを改めて意識するきっかけとなった。そして菊水の街で仕事が出来ていることへの感謝の気持ちを忘れず持ち続けるとともに、より地域社会や環境に対する責任を果たしていかなければならないと実感し、CSR活動にも力を入れるようになった。

最後まで残ったメンバーでなぜかオフセット印刷機の前で記念撮影をし、平成最後の正文舎バーベキューを締めくくった。

そしてまだ遊び足りない面々は、二次会へと流れていくのであった。

What's New!

マンガで伝える商品の強み。

若い世代に伝わりやすい。強みがわかりやすい。

マンガ広告

まずはHPVに感染しているどうかを。今すぐ知りたい方は、以下よりお申込みください。



説明文や説明写真を増やしても、なかなか商品の強みが伝わらない。そんなときには、マンガを使うのもおすすめです。

認知度UP
成約率UP

B to Bにも効果抜群！

マンガ制作

- 4コマ：5万円～
- 5コマ以上：15万円～
- 小冊子16P：30万円～

事例：(株)ジェネティックラボ様

03

正文舎 New&Goods

Text : Shirafuji Saori

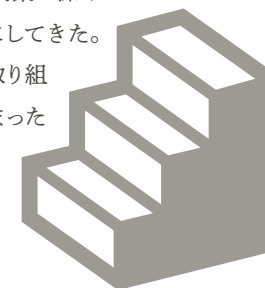
印刷製本課との関わり

印刷製本課は、Web事業部の部長である私にとって、一番遠い部署だった。スタッフと話をする時間もあまりなかった。それが、2018年になってから、オリジナルメモ帳を作ったり、紙廃材を利用してお絵描きセットを作ったりするようになった。そして、先日二人いる課長と、3人で面談をした。会社の方向性を共有したり、自分たちが印刷についてどう思っているのか聞いたり、日常業務でどう目標を持ったりいいか話し合ったり、いい時間だったと思う。

2018年の正文舎の大きなテーマは「挑戦」。創業80年を超える老舗の印刷屋である当社は、長い間ご愛顧いただいているお客様がいることが大きな強みではある一方で、「今の時代に合ったビジネス」に取り組むことが消極的だという弱みもある。物事には良い面と悪い面が必ずあるので、これは当然のこと。ただ、少子化、スマホやSNSの

インフラ化、AI技術の発達、消費増税など、社会は急激に変化しているのに、正文舎の変化がゆるやかであると、社会に取り残されてしまう。Googleの創業者ラリー・ページが「20年後、あなたが望もうが、望まわいが現在の仕事のほとんどが機械によって代行される」と言うように、中小企業の淘汰はもう始まっているのだ。

正文舎の業態変革の一環として、2014年にIT企業から移籍した私は、意識して印刷業に深く関わらず、外から見るようにしてきた。正文舎のブランディングに取り組むスタッフからの依頼で始まった印刷製本課との面談で、次のステップに進み始めたかなと感じている。



もっと素敵に、 その印刷物を、

弊社3階制作フロアに新しいデジタル印刷機、RICOH Pro C7200sとRICOH Pro C9200が導入されました。今回は、C7200Sで印刷可能なスペシャルカラーについて、どのような印刷が出来るのかをご紹介します。

カラー印刷物は、C（シアン：青）・M（マゼンタ：赤）・Y（イエロー：黄）・K（ブラック：黒）の基本となる4色が重なり合うことによって、さまざまな色が表現されています。今回導入したC7200Sもパネルを開けると下の写真のように左からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックと並んでいます。右下の黒いトナーボトルにCLRという文字が見えます。これがスペシャルカラーのクリアトナーボトルです。

クリアトナーは透明なトナーで印刷することによってニスのような光沢感、立体感を得ることができます。

今、ご覧いただいている弊社の会社案内の表紙にもこのクリアトナーを使用しています。



また、トナーボトルをホワイトトナーに入れ替えることで、通常の4色では表現できなかった「白色」を印刷することができます。さらにトナーはオフセットインキに比べ隠蔽性が高く、一度刷りでも濃度の高い、はっきりとした白を印刷できるという特徴があります。

ホワイトトナーを使用した印刷は、クラフト紙や濃色紙に良く映えるため、表現の幅が広がり、紙そのものの質感を残したデザインが差別化となり、より付加価値の高い印刷物となります。名刺やショップカードがぐんとオシャレに目を惹くものになります。

例えば、下の写真はレストランのショップカードです。紙は質感がありオシャレなファーストヴィンテージ（ブルーグレー）で、このまま使用しても十分オシャレですが、さらにホワイトトナーで「NATURICOH」のレストラン名や細かい文字の下地に白を印刷することで、可読性を保ちながら、より素敵に仕上がっています。

私たちは「より伝わる」そして「効果のある」付加価値の高い印刷物を制作するために日々、技術と感性を磨いています。



黒い用紙にホワイトトナーを使用したパッケージ印刷

今回ご紹介したスペシャルカラーを使って、もっと目を惹く印刷物を創ってませんか？ もちろんデザインのご相談も承っております。スペシャルカラーを活かせるデザインを提案させていただきます。詳しくは担当営業までお気軽にお問い合わせください。

スペシャルカラー

Text & Photo: Urata Hisanaga



今月号は表紙のほぼ全面にクリアトナーを使用



RICOH
imagine. change.
Pro C7200s

《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]
〒003-0802
北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号
TEL.011-811-7151
FAX.011-813-2581

[東京オフィス]
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7
オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016
FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【商業印刷物】

[情 報 系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物流資材系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【出版印刷】

[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【業務用印刷】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリアブル、小ロット印刷、賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <http://www.websuccess.jp/>

各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のネット通販サイトの運営



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定のメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの資格を持った制作者が多く在籍しています。



紙には古紙80%再生紙のOKマットコートエコグリーンを使用しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



全日本印刷工業組合連合会によるCSR認定制度の基準を達成しています。



ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 情報セキュリティマネジメントシステムの認証取得をしています。



ぶらねっと
©syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときにどこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

想 像 を 創 造 へ

株式会社 正文舎

札幌本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京OFFICE 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z Writer & Editor ■ Honma Kazumi
Guest TOPICS Writer ■ Urata Hisanaga
New&Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Editor ■ Tokunaga Moe
Editor & Digital Printing ■ Watanabe Mototsugu

※本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C7200で、表紙にクリアトナーを使いオンデマンド印刷しています。